

# 東京湾海況情報 24-10

## 東京湾水質調査結果（平成25年1月）

（平成25年 1月21日発行）

千葉県水産総合研究センター  
 東京湾漁業研究所  
 〒 293-0042 富津市小久保3091  
 TEL 0439-65-3071  
 E-mail futtsu-gk@mz.pref.chiba.lg.jp  
 千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 1/8：内湾(わかふさ)、内房海域(ふさみ丸)  
 関東・東海海況速報(1/8)、東京湾口海況図(1/8)  
 モニタリングポスト(1/8：国土交通省関東地方整備局、海上保安庁)  
 千葉県環境研究センター(1/10)

### 【 水温・塩分の状況 】

内湾の表層水温(図1)はほぼ全域で9~10℃台で、平年より約1℃低くなっています。塩分は30~31PSU台で、ほぼ平年並みに戻っています。

一方、内房海域の表層水温は11~16℃台、塩分は32~34PSU台前半で、金谷から久里浜を結ぶライン以南では水温15℃以上の水塊が流入しています。また、縦断面の水温・塩分の鉛直分布(図3)をみても、水温15℃以上・塩分34PSU以上の水塊が浦賀水道航路入口付近の水深10m以深まで達しています。

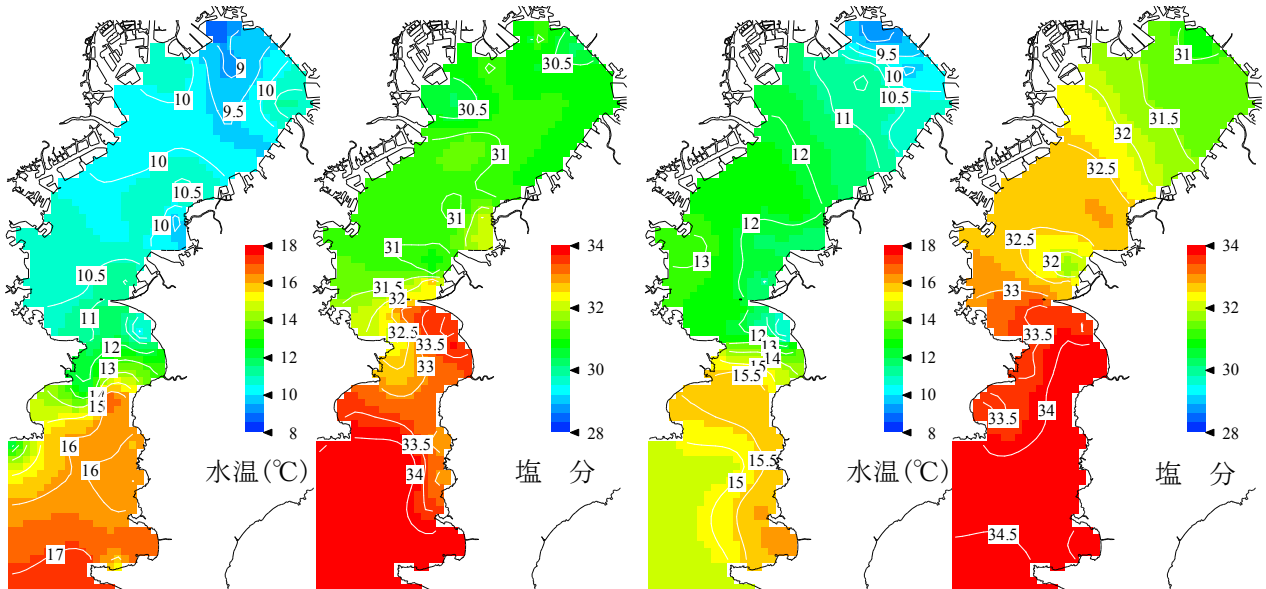


図1 水温・塩分分布（表層）

図2 水温・塩分分布（底層）

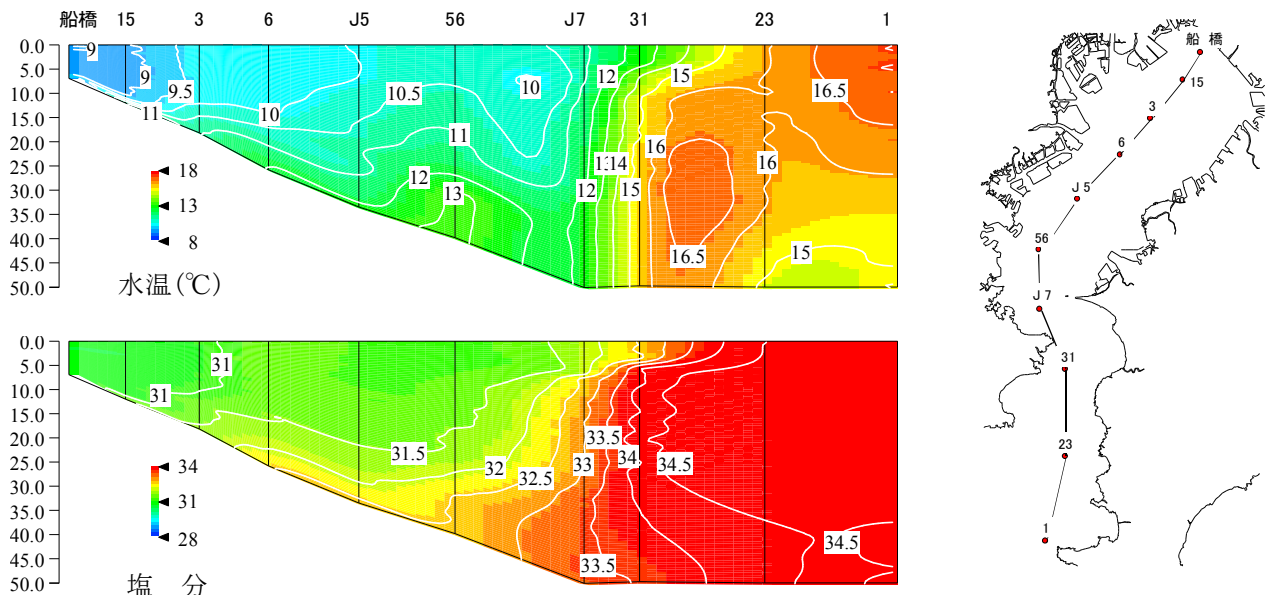


図3 縦断面の水温・塩分の鉛直分布(上：内湾、下：内房海域、右：調査ライン)

### 【 赤潮の状況 】

赤潮はまだ全域で発生していませんが、内湾ではスケルトネマ(*Skeletonema* sp.)やタラシオシラ(*Thalassiosira* sp.)などのケイ藻プランクトンが増加し、水色も褐色を帯びてきています。

さらに、透明度が中央から北部海域の千葉県側で2m台まで低下しています。

一方、保田から富浦にかけての周辺海域では、プランクトンは非常に少なく、ケイ藻類が若干みられる程度でした。

※ 千葉県の赤潮の目安は次のとおりです。

色	: オリーブ～褐色
酸素飽和度	: 150%以上
透明度	: 1.5m以下
pH	: 8.5以上
クロロフィルa	: 50 $\mu$ g/L以上

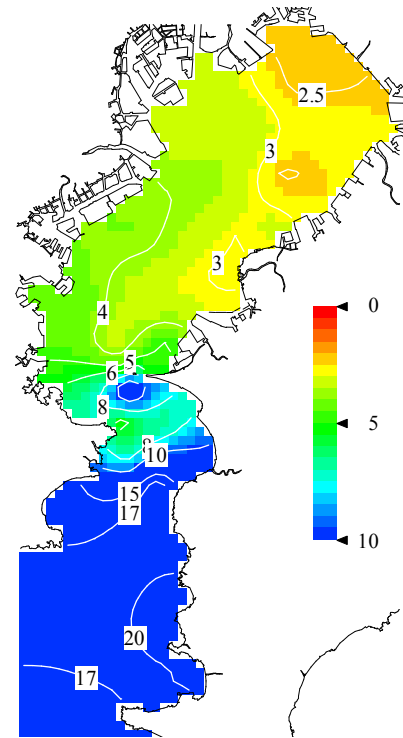


図4 透明度の分布(m)

### 【 貧酸素水塊の状況 】

内湾底層部の溶存酸素量(図5, 6)は5ml/L以上あり、貧酸素水塊は発生していません。

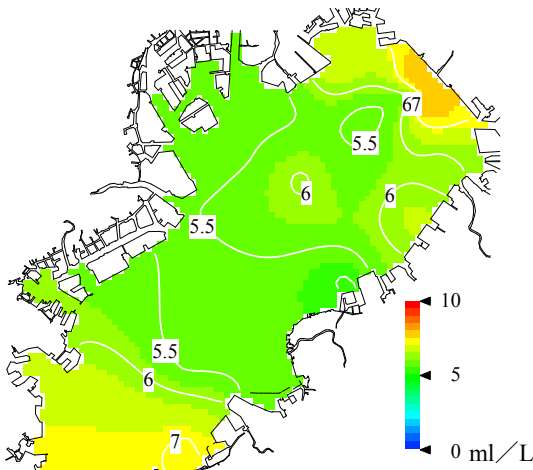


図5 底層部の溶存酸素量の分布(内湾)

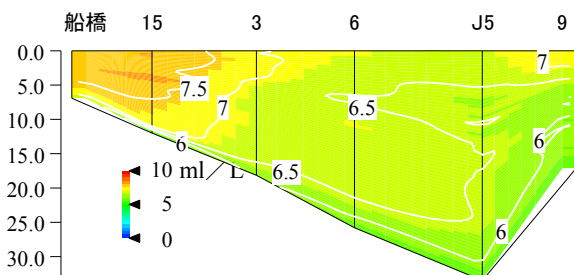


図6 縦断面の溶存酸素量の分布(内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L(酸素飽和度50%)以下を貧酸素水塊としています。

### 【 栄養塩の状況 】

湾内の表層栄養塩濃度(図7)は溶存無機態窒素(DIN)、リン酸態リン( $PO_4-P$ )ともほぼ全域で平年並み～やや高めになっています。

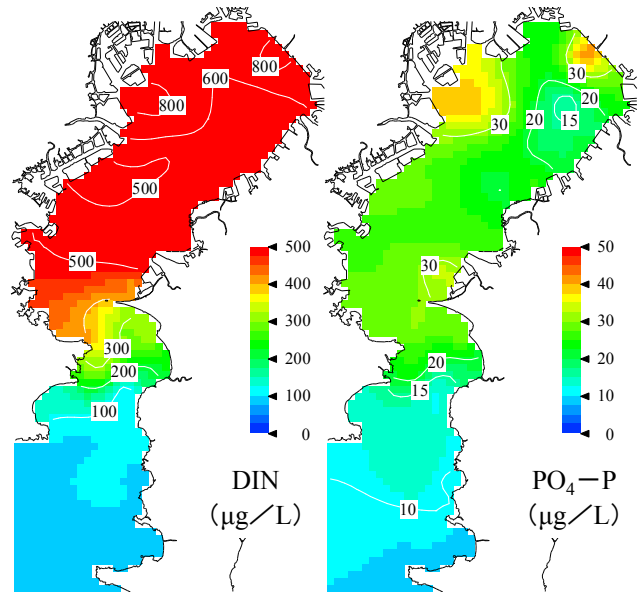


図7 栄養塩濃度の分布(表層)

## 【黒潮の状況】

黒潮はほぼC型基調で推移し、その流軸は8日現在伊豆諸島の東側を北上し、房総半島南東岸に接岸しながら北東方向に流れています(図8)。これに伴い、東京湾口に沖合水が流入しています。

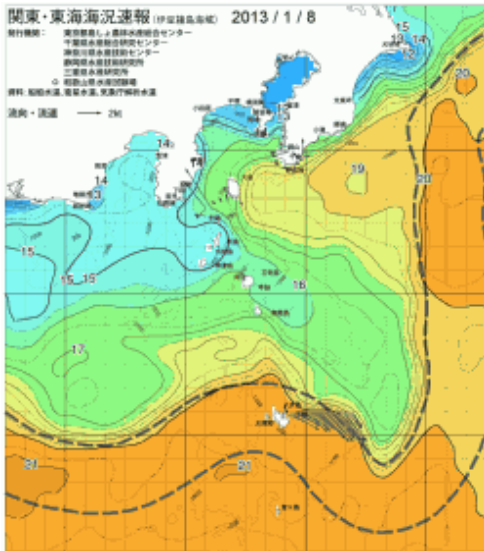
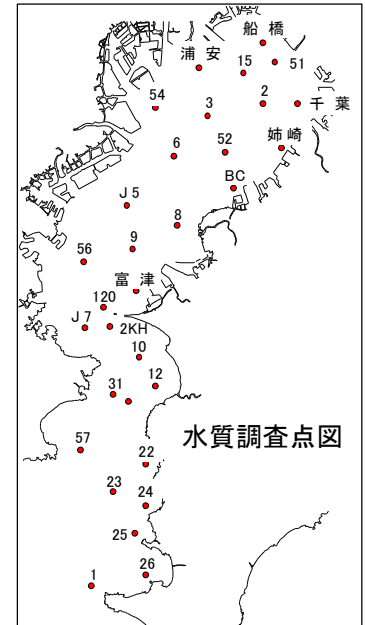


図8 黒潮の動き (平成25年 1月 8日)



水質調査点図

表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)  
( ): 最近10年間の平均値 (2002~2011年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (ml/L)	アンモニア態窒素 (µg/L)	溶存無機態窒素 (µg/L)	リン酸態リン (µg/L)	クロロフィルa (µg/L)	
内湾	船橋	9.1 (10.3)	30.70 (30.47)	2.4 (2.8)	8.2 (8.3)	6.7 (6.3)	20 (54)	629 (557)	25 (23)	31.2
	st.15	8.8 (10.9)	30.52 (30.82)	2.4 (4.2)	8.2 (8.3)	5.5 (5.6)	9 (52)	630 (522)	22 (21)	21.7
	st.3	9.8 (11.1)	30.87 (30.70)	3.5 (4.1)	8.2 (8.3)	6.0 (5.5)	53 (72)	633 (596)	29 (23)	19.6
	st.6	9.9 (11.3)	31.30 (30.42)	3.9 (5.1)	8.2 (8.3)	5.6 (5.1)	24 (41)	522 (483)	25 (19)	12.9
	st.9	10.0 (11.6)	31.11 (31.55)	3.2 (5.9)	8.1 (8.3)	5.6 (5.7)	34 (41)	547 (446)	25 (21)	16.1
	st.BC (盤洲Cブイ)	10.1 (12.1)	30.82 (31.22)	3.3 (4.2)	8.1 (8.3)	4.9 (5.4)	33 (41)	578 (472)	24 (21)	16.2
	st.8 (盤洲A南)	10.2 (11.7)	31.17 (31.46)	3.0 (4.8)	8.1 (8.3)	5.4 (5.2)	25 (34)	557 (431)	24 (20)	20.3
	富津	10.9 (12.0)	31.03 (31.60)	5.0 (5.3)	8.1 (8.3)	7.0 (5.7)	38 (34)	470 (406)	33 (20)	8.6
内房海域	st.2KH (第2海ほ下)	11.3 (12.7)	33.15 (33.01)	12.0 (7.1)	8.2 (8.3)		23 (22)	358 (289)	29 (18)	1.4
	st.31	12.5 (14.3)	32.55 (33.49)	9.0 (11.3)	8.2 (8.3)		7 (12)	276 (205)	22 (15)	6.3
	st.23	16.0 (16.3)	34.54 (34.33)	19.0 (19.2)	8.2 (8.3)		5 (7)	84 (102)	11 (13)	0.7
	st.1	17.0 (16.6)	34.54 (34.44)	17.0 (19.4)	8.2 (8.2)		11 (9)	64 (92)	7 (12)	0.7
	st.10 (下洲沖)	11.7 (13.9)	33.58 (33.61)	7.0 (9.6)	8.2 (8.2)		8 (15)	287 (214)	24 (18)	2.5
	st.12 (湊沖)	13.4 (13.2)	33.24 (33.49)	11.0 (8.7)	8.2 (8.2)		7 (12)	194 (191)	17 (15)	
	st.22 (保田沖)	15.9 (15.9)	32.77 (34.32)	19.0 (16.4)	8.2 (8.2)		3 (10)	81 (112)	11 (13)	0.7
	st.24 (富山沖)	16.0 (16.5)	32.85 (34.42)	22.0 (19.5)	8.2 (8.2)		3 (9)	75 (93)	10 (12)	0.7
st.26 (館山湾内)	16.8 (16.3)	34.12 (34.39)	20.0 (19.2)	8.2 (8.2)		5 (9)	53 (91)	8 (12)		

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の青色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。